レスプリシリーズ
セットアップガイド

目　次

1. はじめに ____ P1

2. セットアップ手順
- 付属品の確認を行ってください ____ P2
- プリンタドライバインストールまでの作業手順 ____ P3
- プリンタ本体の準備を行ってください ____ P4
- パラレルインタフェース接続(オプション) ____ P6
- USB インタフェース接続(オプション) ____ P7
- シリアルインタフェース接続(オプション) ____ P8
- LAN インタフェース接続(オプション) ____ P10
- 無線 LAN インタフェース接続(オプション) ____ P12

3. ネットワークユーティリティ
- はじめに ____ P14
- プリンタ本体を確認してください ____ P14
- ネットワークユーティリティを起動します ____ P14
- プリンタに IP アドレスを設定します ____ P15
- その他の設定 ____ P18
- プリンタから IP アドレス等の設定情報を印字させるには ____ P25

4. プリンタドライバインストール方法
- プリンタドライバのインストール ____ P26
- パラレルポート インストール ____ P28
- シリアルポート インストール ____ P33
- LAN ポート インストール ____ P34
- USB ポート インストール ____ P36

5. ラベル発行までの流れ(Windows2000/XP/Server2003) ____ P38

6. プリンタドライバのアンインストール方法 ____ P45

7. ファイル保存方法 ____ P47

8. ファイル読込み方法 ____ P48

9. プリンタドライバ共有機能 ____ P49

10. Q&A ____ P51

11. アクセサリ CD-ROM ____ P52

12. ご注意 ____ P55

プリンタの設置／据置き作業が行われた後、セットアップ作業を行ってください。本セットアップガイドは、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順が記載されています。

第 2 版　2006 年 8 月 1 日　Q01520001

©2006　株式会社サトー

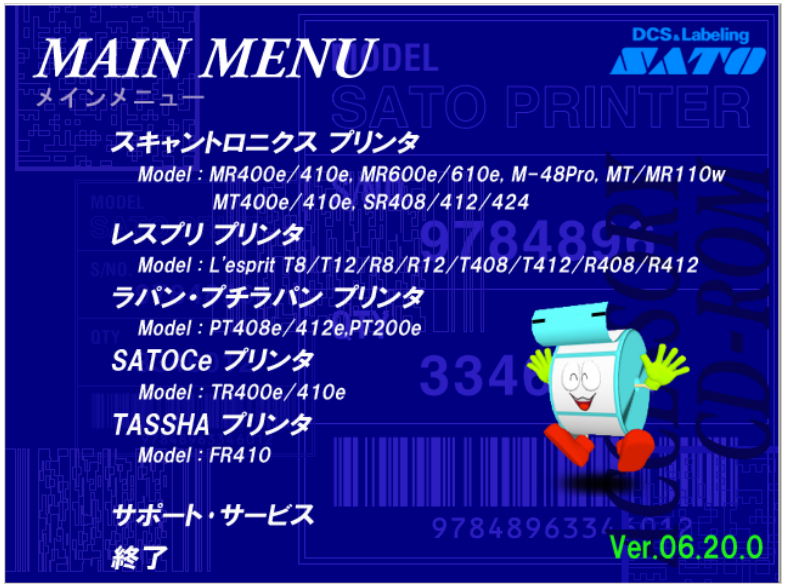
1．はじめに

本書は、レスプリシリーズプリンタを、プリンタドライバを使用して動作させるまでの説明書です。

レスプリシリーズプリンタは、レスプリ T8／R8、レスプリ T12／R12、レスプリ T408／R408、レスプリ T412／R412 で構成されています。

各プリンタのプリンタドライバをインストールする場合は、下表のドライバ名称のプリンタドライバをインストールしてください。

ドライバ名称	対応機種
SATO レスプリ T8-R8	レスプリ T8、R8、T408、R408
SATO レスプリ T12-R12	レスプリ T12、R12、T412、R412



メインメニュー

「Windows2000」「WindowsXP」「WindowsServer2003」でプリンタを使う場合に、必要な設定方法を中心に説明しています。

プリンタドライバとは、こんなソフトです。

① コンピュータで作成したデータ（文書や絵）を…
② プリンタに送り出し…
③ ラベルに印刷する作業を行います。

２．セットアップ手順

付属品の確認を行ってください

プリンタを箱からだしましょう。箱を開けたら、添付品を確認してください。
添付品についての詳しい説明は、「取扱説明書」をご確認ください。
取扱説明書の手順にしたがって、プリンタを設置してください。

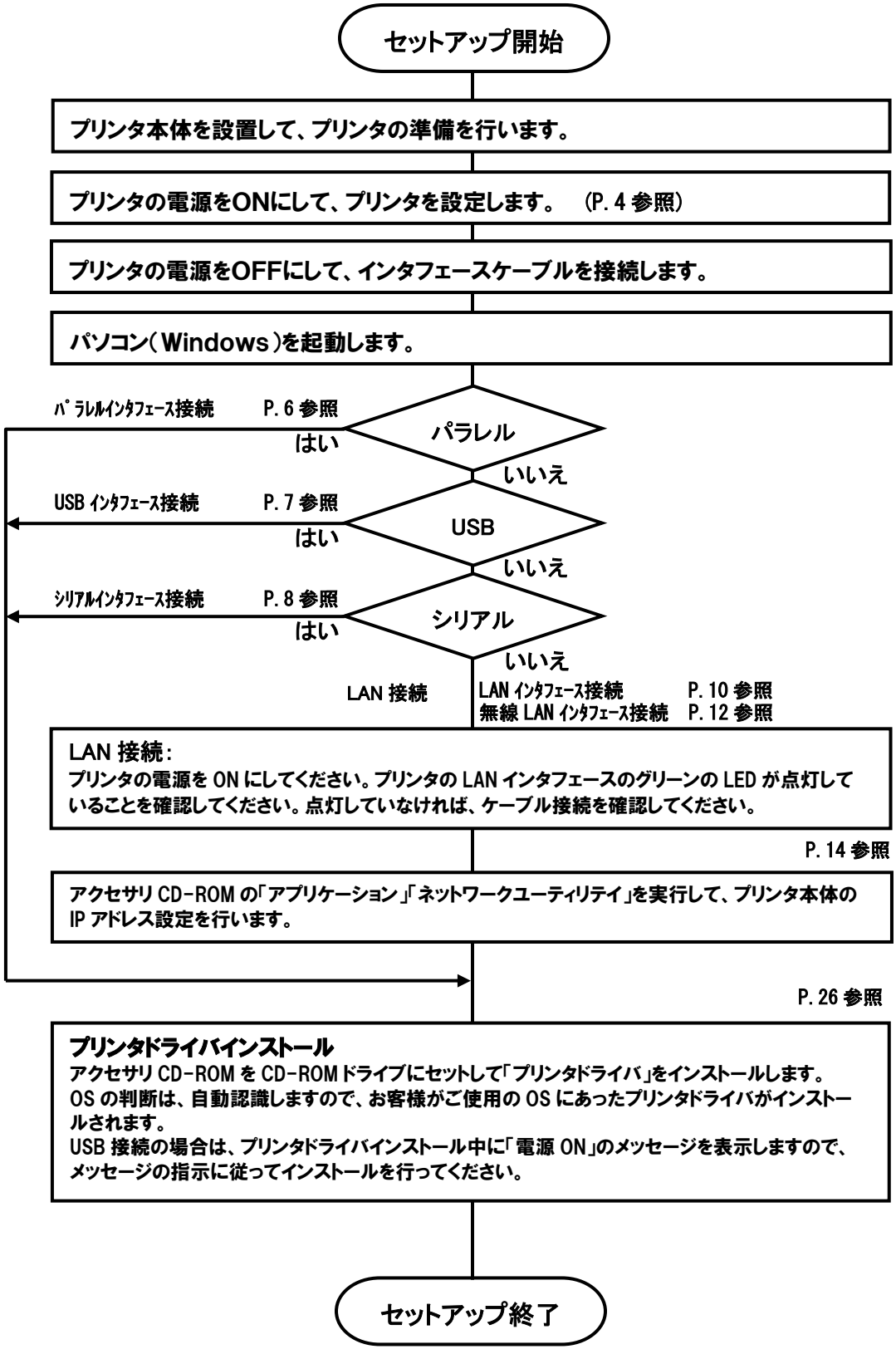
添 付 品
1. 保証書/メンテナンス案内書/サービスネットワーク
2. ヘッドクリーニングセット
3. ヘッドクリーニングシート（ラッピングシート）
4. 電源コード/ＡＣアダプタ
5. 2 極アダプタ
6. テスト用ラベル
7. セットアップガイド（本書）
8. SATO アクセサリ CD-ROM
9. ボリューム調整用ドライバ（トップカバーの内側に設置されています。）
10. 取扱説明書

注意1 **プリンタドライバは、「アクセサリ CD-ROM」に収納されています。**

注意2 **電源について**
本体→AC アダプタ→電源コードとつなげます。本体に AC アダプタを差し込むときは、上下を確認してしっかりと接続してください。
コンセントによっては 2 極アダプタを使用してください。
必ずアース線をアースに接続してください。接続しないと感電の原因となります。

注意3 **本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。**

プリンタドライバをインストールするまでの作業手順



プリンタ本体の準備を行ってください

準備1. 電源ケーブルをプリンタに接続してください。

準備2. お使いになる、ラベル、リボンをセットしてください。

準備3. プリンタの電源を ON にしてください。
（インタフェースケーブルは接続しないでください。）

準備4. はじめにプリンタ本体の動作条件を設定してください。

設定1. プリンタ本体の動作条件を設定してください。

プリンタ設定ツールによりプリンタ本体の動作条件を設定してください。
※詳しい内容は、アクセサリ CD-ROM に収められている「プリンタ設定ツール説明書」（PDF）をご確認ください。

設定2. ディップスイッチ（DSW）を設定してください。

DSW 設定表

NO	機　能	説　明
1 2 3	モード切替え	DSW1 / DSW2 / DSW3 / 動作モード OFF / OFF / OFF / 連続 ON / OFF / OFF / ティアオフ OFF / ON / OFF / カッタ ON / ON / OFF / ハクリ OFF / OFF / ON / ノンセパ OFF / ON / ON / フォントダウンロード ON / OFF / ON / ファームダウンロード
4	印字方式	ON　：熱転写 OFF　：ダイレクトサーマル
5	ヘッドチェック	ON　：有効 OFF　：無効
6	VR1 調整選択	ON　：印字濃度調整 OFF　：オフセット位置調整
7	ダンプモード	ON　：有効 OFF　：無効
8	パラレル通信設定 （※注意 4 参照）	IEEE1284+USB インタフェースの IEEE1284 を使用した場合のみ有効になります。通常は OFF で設定。

注意4 パソコンに合わせた通信設定を行ってください。プリンタ設定を行った後、プリンタドライバをインストールしてください。

注意5 USB 接続の場合、プリンタドライバインストール中に、「プリンタの電源を入れてください」というメッセージが表示されます。それまでは、電源を入れないでください。

注意6 パラレル接続の場合、DSW8 は OFF に設定してください。
但し、パソコン機種によっては、双方向通信できない場合があります。この場合は DSW8 を ON に設定してください。

DSW8	設定内容
ON	双方向通信しないモード
OFF	双方向通信するモード（通常）

パラレル接続以外の場合、DSW8 は ON/OFF のどちらに設定しても問題ありません。

注意7 **ヘッドチェックはヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。**

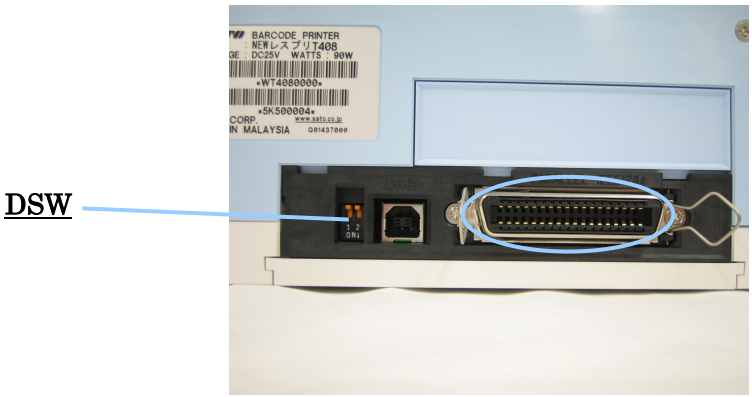
注意8 **バーコードをイメージ(BMP など)で作成するツール(MS-Barcode など)にて作成し、当社プリンタにて印字出力した場合、スキャナ等で読取りできない場合があります。これらのツールはあくまでもバーコードをイメージで作成されるため、正しいデータにならない場合があるためです。このため、スキャナ等でバーコード読取りできない場合は、プリンタ及びプリンタドライバのバーコード不具合ではありませんので、これらのツールを使用された場合の読取りについては保証いたしませんのでご注意してください。**

この内容はイメージでバーコードを印刷時のトラブルを防ぐためホームページのドライバダウンロードサイトの注意書きとして掲載しています。
http://dcs.sato.co.jp/soft-download/drivers/drv-download/drvdownload.htm

プリンタの電源が OFF のときに、インタフェースケーブルを接続してください。

パラレルインタフェース接続(オプション)

プリンタのパラレルインタフェースボードを確認してください。



パラレルインタフェース仕様

IEEE1284 準拠：互換モード、ECP モード、ニブルモードをサポートします。

ECP モードは、パソコン機種によりサポートしていないことがあります。
パソコンのパラレルインタフェース仕様をご確認ください。
ECP モードは、パソコンの BIOS 設定で行います。パソコン機種によっては、Windows 上のツールソフトを使用することもあります。

パラレルインタフェース接続の場合、インタフェースボードのディップスイッチ(DSW)を OFF、OFF に設定します。

注意9 IEEE1284 準拠ケーブル以外のケーブルを使用される場合、データ化けが発生することがありますので、必ずサトー添付品(オプション)をお使いください。

注意10 ご使用になる、パソコン機種がIEEE1284 をサポートしていない場合は、双方向通信ができません。
「書き込みエラー」が発生した場合、プリンタドライバのプロパティの「詳細」の「スプールの設定」で、「このプリンタの双方向通信機能は、サポートしない(I)」に設定してください。この場合、プリンタのステータス情報を必要とする「ステータス監視モニタ」等のソフトは正常動作しません。ご注意ください。

注意11 パソコン機種によっては、ECP モードの設定を行っても ECP 動作を行わない機種があります。パソコンメーカーへお問合せください。

USB インタフェース接続(オプション)

プリンタの USB インタフェースボードを確認してください。

USB インタフェース仕様

USB インタフェース接続の場合、インタフェースボードの DSW を ON、ON に設定します。

注意12 **USB 接続の場合、パソコンにプリンタドライバをインストールするまでは、USB ケーブルを接続した状態で、プリンタ本体の電源を ON にしないでください。**
ドライバがインストールされずに電源が ON にされると Windows の Plug & Play が実行され、USB ドライバインストールメッセージが表示されますのでキャンセルしてください。
USB ドライバは、プリンタドライバとともにインストールされます。

注意13 **パソコンには、USBインタフェースを2ポート搭載している機種があります。**
ケーブルの接続箇所により、「出力デバイス名」が違いますので、間違えないようにケーブルを接続してください。

例 1)Windows2000/WindowsXP の場合
5&3bcb19f&0&1(1 ポート目)
5&3bcb19f&0&2(2 ポート目)

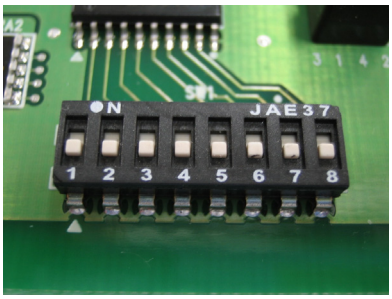
例 2)WindowsServer2003 の場合
5&39942784&0&1(1 ポート目)
5&39942784&0&2(2 ポート目)

注意14 **パソコン機種によっては、USB バージョンがプリンタと異なるため、データ化けが発生して接続できないケースがあります。事前確認を必ず行ってください。**

注意15 **パソコン機種によっては、USB バージョンがプリンタと異なるため、通信誤動作が発生します。1メートル長のケーブルを使用してご確認ください。**
それでも接続できない場合は、パソコンメーカーにお問合せください。

シリアルインタフェース接続（オプション）

プリンタのシリアルインタフェースボードを確認してください。



RS-232C インタフェース仕様

通信速度　　：9600bps、19200bps、38400bps、57600bps
データ長　　：7 ビット、8 ビット
ストップビット　：1 ビット、2 ビット
パリティチェック：無し、奇数、偶数
通信プロトコル　：4 種類
　READY/BUSY（ER 制御）、XON/XOFF、ドライバ専用プロトコル、ステータス 3

シリアルインタフェース接続の場合、パソコンの通信設定にあわせて、プリンタの通信設定を行ってください。
通信条件は、インタフェースボードの DSW で設定します。

シリアルインタフェースボードの DSW

<table>
<tr><th>No</th><th>機　能</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>1</td><td>データビット長</td><td>ON　：7 ビット
OFF　：8 ビット</td></tr>
<tr><td>2
3</td><td>パリティ設定</td><td>
<table>
<tr><td>DSW2</td><td>DSW3</td><td>パリティ設定</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>ON</td><td>未使用</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>奇数</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>偶数</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>なし</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>4</td><td>ストップビット</td><td>ON　：2 ビット
OFF　：1 ビット</td></tr>
<tr><td>5
6</td><td>ボーレート</td><td>
<table>
<tr><td>DSW5</td><td>DSW6</td><td>ボーレート</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>ON</td><td>57600bps</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>38400bps</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>19200bps</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>9600bps</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>7
8</td><td>プロトコル</td><td>
<table>
<tr><td>DSW7</td><td>DSW8</td><td>プロトコル</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>ON</td><td>ドライバ専用プロトコル（マルチ受信）</td></tr>
<tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>ステータス 3（マルチ受信）</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>XON/XOFF（マルチ受信）</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>READY/BUSY（1 アイテム、マルチ受信切替可）</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

注意16 RS-232C ケーブルは、設定された通信プロトコルによりケーブル結線が異なりますのでご注意ください。ケーブルを間違えると、正常に動作しません。

1. READY/BUSY 使用時

2. XON/XOFF、ステータス 3、ドライバ専用プロトコル使用時

注意17 シリアルインタフェースの詳細については、アクセサリ CD-ROM「SBPL プログラミングガイド」をご確認ください。

注意18 パソコンとの通信設定があっていないと正常動作しません。インタフェースエラーになります。

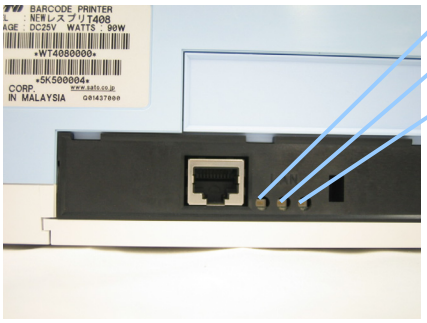
注意19 プリンタドライバを使用するときには、必ず通信プロトコルを「ドライバ専用プロトコル」に設定してください。

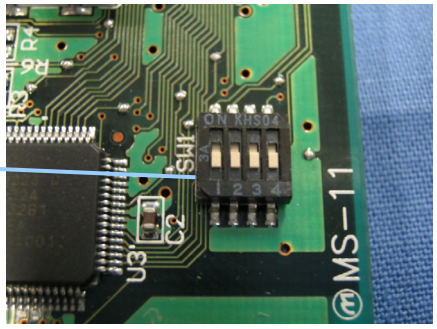
LAN インタフェース接続(オプション)

プリンタの LAN インタフェースボードまたは、LAN+無線 LAN インタフェースボードを確認してください。

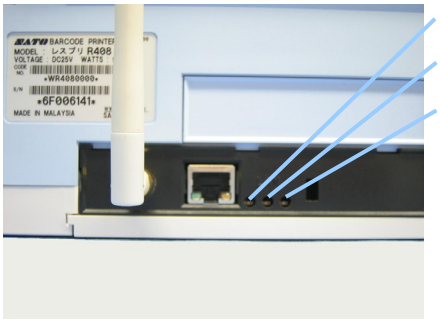
LAN (UTP) ケーブルを接続して電源を投入してください。

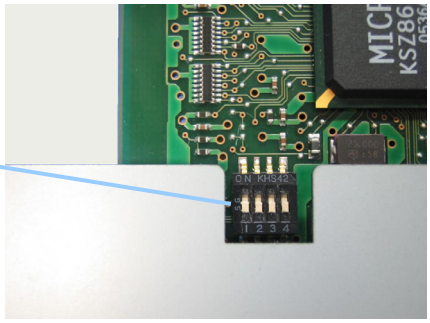
1. LAN インタフェースボード





2. LAN+無線 LAN インタフェースボード





STAT	:	パケットを受信したとき点灯します。
LINK10	:	接続先を 10BASE-T と認識したとき点灯します。
LINK100	:	接続先を 100BASE-TX と認識したとき点灯します。
DSW	:	設定内容をプリンタから印字して確認するために使用します。

LAN インタフェース仕様

10BASE-T/100BASE-TX は自動認識されます。

プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信を行います。

LANインタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境にあわせた、通信条件設定が必要です。プリンタ本体のIPアドレスを設定してください。

プリンタ本体のIPアドレスは、添付品のアクセサリ CD-ROM にあるネットワークユーティリティを使って設定します。

ネットワークユーティリティの使用方法は、P.14 以降を参照してください。

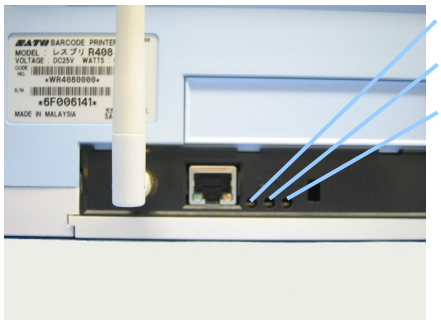
注意20 ネットワークユーティリティを使うと、パソコンからプリンタのIPアドレスの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。
また、プリンタの LAN インタフェースボードにある DSW3 を操作することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字することができます。

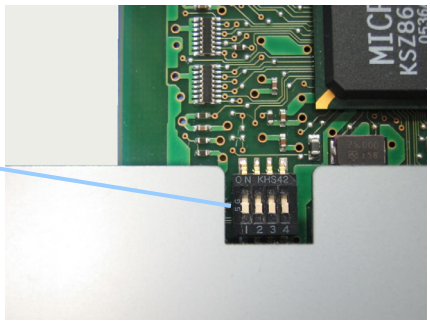
操作 プリンタに登録されている、IPアドレス等の設定内容をプリンタから印字させるには、
プリンタの電源を OFF にして、プリンタの LAN インタフェースボードにある DSW3 を ON にしてから電源を入れてください。
設定されている内容(IPアドレス等)が印字されます。
注意:印字後は、プリンタの電源を OFF して、必ず DSW3 を OFF にしてください。

注意21 プリンタドライバを使用されるときは、必ず受信モードを「マルチ受信」、LAN 設定モードを「周期応答ステータス」設定してください。

無線 LAN インタフェース接続(オプション)

プリンタの無線 LAN インタフェースボードを確認してください。
LAN (UTP) ケーブルを接続せずに電源を投入してください。





無線 LAN インタフェース仕様

・規格	IEEE802.11b/g 準拠
・通信速度	自動切替え
IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
IEEE802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1Mbps
・通信距離	通信距離は､使用環境により変動します。
・通信チャンネル	1～13 (初期値 11)
・SSID	任意の英数文字列を最大 32 文字設定 (初期値「default」)
・認証方式	Open System/Shared Key/WPA (初期値 Open System)
・WEP	「使用する」､「使用しない」(初期値「使用しない」)
・WEP キー	
キーサイズ	「64bit」､「128bit」(初期値「64bit」)
キーインデックス	1～4 (初期値 1) キーサイズ「64bit」 16 進入力の場合、10 桁設定 ASCII 入力の場合、5 桁設定 キーサイズ「128bit」 16 進入力の場合、26 桁設定 ASCII 入力の場合、13 桁設定
・802.1x 認証	「ENABLE」「DISABLE」(初期値「DISABLE」)
認証モード	「EAP-TLS」､「LEAP」(初期値「LEAP」)
ユーザ名	任意の英数文字列を最大 64 文字設定 (初期値 NULL)
・WPA 認証	
WPA モード	「PSK」､「802.1x」(初期値「PSK」)
暗号化方式	「TKIP」､「AES」(初期値「TKIP」)
WPA-PSK 共有キー	任意の英数文字列を 8～最大 63 文字設定 (初期値「sato printer」)
WPA 802.1x 認証モード	「EAP-TLS」(初期値「EAP-TLS」)
WPA 802.1x ユーザ名	任意の英数文字列を最大 64 文字設定 (初期値 NULL)

プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。

無線 LAN インタフェースの通信モードは DSW にて指定します。

DSW4	無線 LAN 通信モード
OFF	Ad hoc
ON	Infrastructure

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信を行います。

無線LANインタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境にあわせた、通信条件設定が必要です。プリンタ本体のIPアドレスを設定してください。
プリンタ本体のIPアドレスは、添付品のアクセサリ CD-ROM にあるネットワークユーティリティを使って設定します。
ネットワークユーティリティの使用方法は、P.14 以降を参照してください。

注意22 ネットワークユーティリティを使うと、パソコンからプリンタのIPアドレスの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。
また、プリンタの LAN インタフェースボードにある DSW3 を操作することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字することができます。

操作 プリンタに登録されている、IPアドレス等の設定内容をプリンタから印字させるには、
プリンタの電源を OFF にして、プリンタの LAN インタフェースボードにある DSW3 を ON にしてから電源を入れてください。
設定されている内容(IPアドレス等)が印字されます。
注意:印字後は、プリンタの電源を OFF して、必ず DSW3 を OFF にしてください。

注意23 プリンタドライバを使用されるときは、必ず受信モードを「マルチ受信」、LAN 設定モードを「周期応答ステータス」設定してください。

3．ネットワークユーティリテイ

はじめに

ネットワークユーティリティ（Admin Manager）は、サトー製プリンタ専用ネットワーク環境設定ソフトです。

ネットワークユーティリティとは、こんなソフトです。

LAN に接続されたサトー製プリンタを、検索することができます。
検索されたプリンタを選択して、IP アドレス等の条件を設定することができます。
設定状態をプリンタからラベルに印字することができます。

注意 プリンタが検索されない場合は、

- **プリンタの電源を確認してください。**
- **プリンタの LAN インタフェースボードまたは LAN+無線 LAN インタフェースボードのグリーン LED が点灯していることを確認してください。**
- **ご使用のパソコンとプリンタがネットワーク環境に接続されているか確認してください。**
- **パソコンとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外して、ローカルの LAN 環境にしてください。**
- **無線 LAN インタフェースの通信モード、設定内容を確認してください。ローカルの LAN 環境にしてください。**

①

プリンタ本体を確認してください

LAN インタフェースの場合、プリンタに LAN ケーブルを接続し電源を ON にしてください。無線 LAN インタフェースの場合、プリンタに LAN ケーブルを接続せずに電源を ON にしてください。
プリンタの LAN インタフェースボードまたは LAN+無線 LAN インタフェースボードのグリーン LED が点灯しているか確認してください。

②

ネットワークユーティリティを起動します

1．「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
2．「メインメニュー」画面が表示されます。

注意 自動起動しない場合は、CD-ROM の「STARTUP.EXE」をダブルクリックしてください。

3．「メインメニュー」画面より、「レスプリ プリンタ」をクリックします。
4．「レスプリシリーズ プリンタ」画面より、「ユーティリティ」をクリックします。
5．「ユーティリティ」画面より、「ネットワークユーティリティ」を選択して「起動」をクリックします。
6．ネットワークユーティリティ「Admin Manager」が起動します。

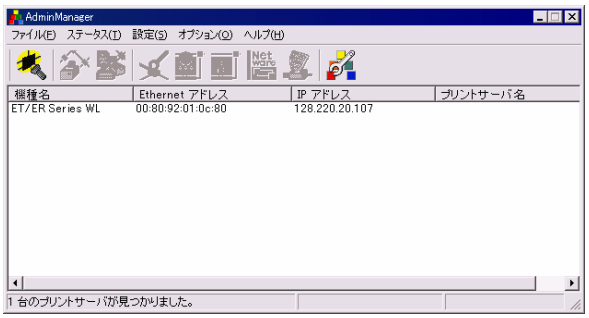
③

プリンタにIPアドレスを設定します
まず、設定を行うプリンタを検索します。

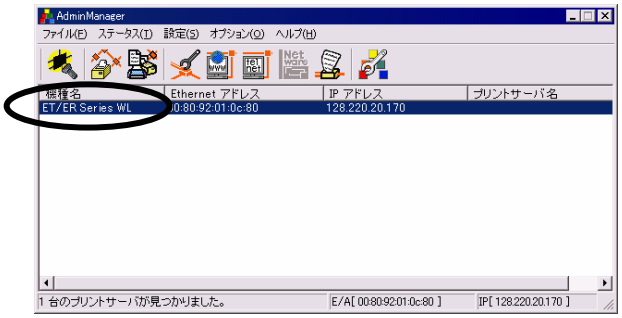
1.「ファイル(F)」メニューから「検索(S)」をクリックします。

2. 検索されたプリンタの一覧が表示されます。

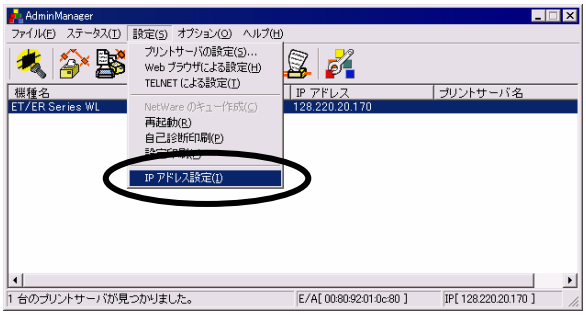
注意 **タイミングにより、検索できないときがあります。繰り返し検索を行ってください。**
画面はLANインタフェースボードをセットしたプリンタを検索した場合です。
LANインタフェースボードをセットしてある場合、機種名表示が「ET／ER Series」となります。



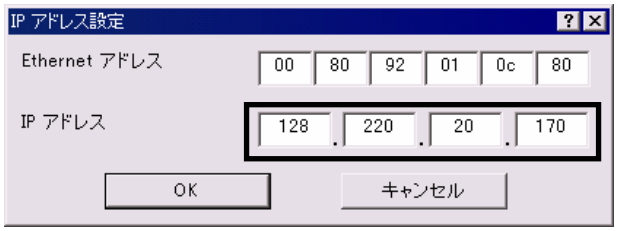
3. 設定するプリンタをクリックしてください。



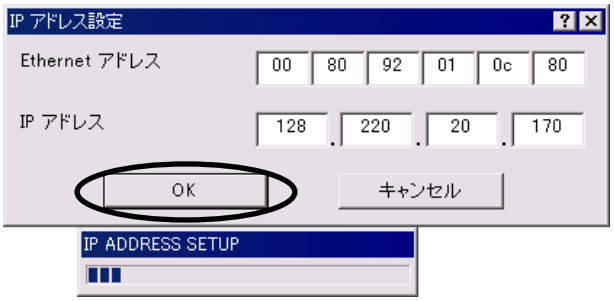
4．プリンタの IP アドレスを設定します。
「設定(S)」メニューから「IP アドレス設定(I)」をクリックします。



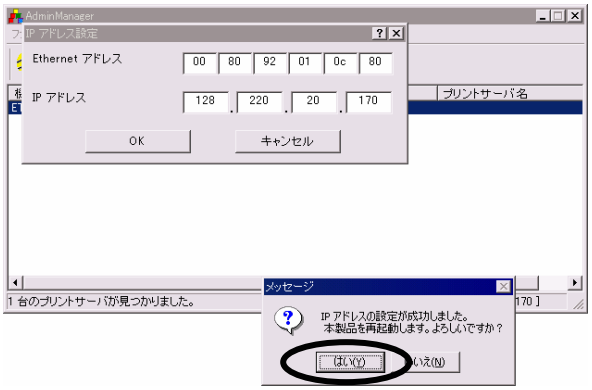
5．IP アドレスを入力します。



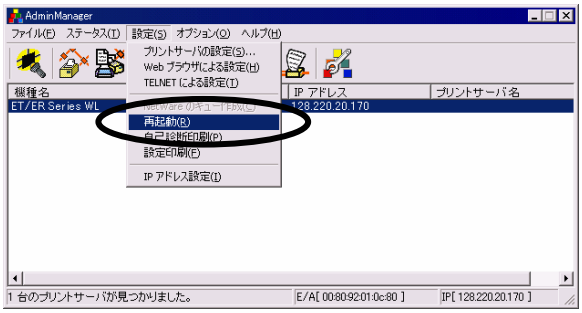
6．IP アドレスを入力後、「OK」をクリックするとプリンタに IP アドレスを登録します。



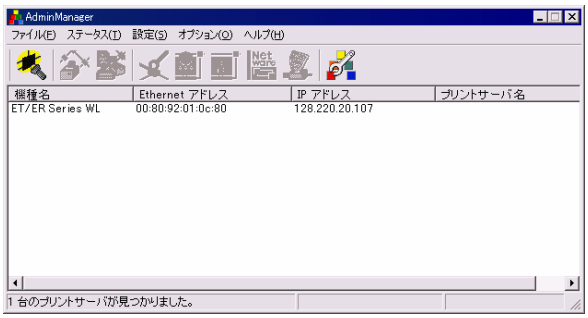
7．IP アドレスの登録を完了すると「IP アドレスの設定が成功しました。本製品を再起動します。よろしいですか？」のメッセージを表示します。「はい(Y)」をクリックしてください。



８．「設定(S)」から「再起動(R)」を選択し、LAN インタフェースボードまたは LAN+無線 LAN インタフェースボードをリセットします。



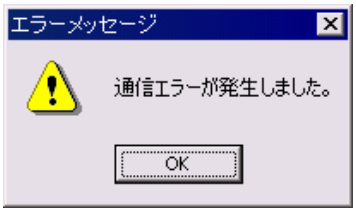
選択されたプリンタのインタフェースボードをリセットします。
リセット後、再度、プリンタの検索（「検索(S)」）を行ってください。
設定された IP アドレスのプリンタが表示されたら、プリンタの IP アドレス設定は完了です。
サブネットマスクなどの設定を行う場合、「その他の設定（P. 18)」を参照してください。



ヒント

IPアドレスを設定する際に下記のエラーメッセージが表示された場合の対処方法

※IPアドレスを設定するパソコンとプリンタのIPアドレスが同一セグメントに設定されていない場合、下記のエラーメッセージが表示されます。



操作

※LAN ボードの初期化を行ないます。

①プリンタの LAN インタフェースボードまたは LAN+無線 LAN インタフェースボードにある DSW2を「ON」にし、プリンタの電源を入れます。
（約 10 秒間電源を入れた状態にします）

②プリンタの電源を切ります。

③プリンタの LAN インタフェースボードまたは LAN+無線 LAN にある DSW2を「OFF」にし、プリンタの電源を入れます。

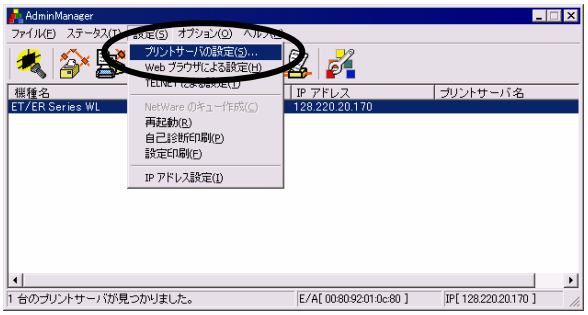
④ネットワークユーティリティの「検索」からやり直して、IP アドレスを設定してください。

※パソコンに設定されている IP アドレスを確認し、再度 IP アドレスを設定してください。

④

その他の設定

1.「設定(S)」「プリントサーバの設定(S)」をクリックします。



2.TCP/IP の設定
「TCP/IP」をクリックします。

①「DHCP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とします。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。

②「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、MAC アドレスから IP アドレスを認識します。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。

注意 プリントサーバの初期状態は、
・IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは「0.0.0.0」
・DHCP、RARP は「有効」
になっています。

③ 「IP アドレス」の指定ができます。

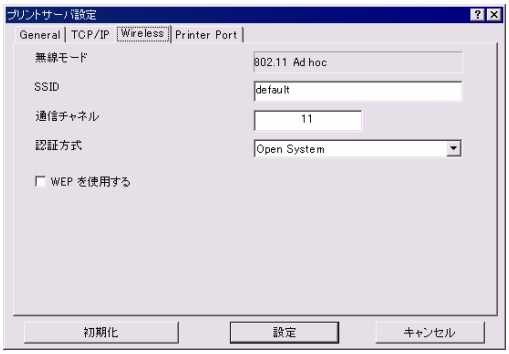
④ 「サブネットマスク」の指定ができます。

⑤ 「ゲートウェイ」の指定ができます。

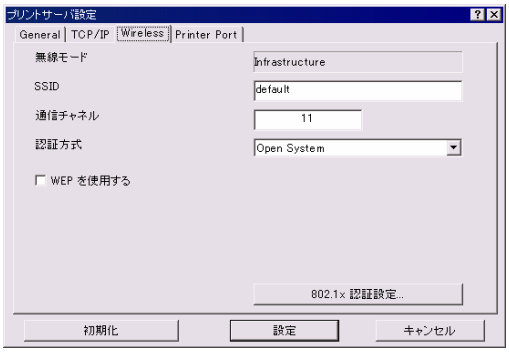
3.無線設定

無線設定は、無線 LAN インタフェースをご使用の場合のみ行ってください。LAN インタフェースをご使用の場合は、行わないでください。
「Wireless」をクリックします。
LAN+無線 LAN インタフェースボードの通信モード（DSW4 設定）により、下記画面にて設定します。

LAN インタフェースボードの場合、「Wireless」は表示されません。



「Ad hoc」モード
（DSW4：OFF 設定）



「Infrastructure」モード
（DSW4:ON 設定）

①SSID の設定
任意の英数文字列を最大 32 文字設定できます。(初期値は「default」です。)
注意 「Ad hoc」モードの場合は、SSID の指定は可能ですが、設定は無効となります。

②通信チャンネルの設定
1～13 のチャンネルを指定します。(初期値は「11」です。)
注意 「Infrastructure」モードの場合は、通信チャンネルの指定は可能ですが、設定は無効となります。

③認証方式の設定
認証方式を設定します。(初期値は「Open System」です。)
注意 設定した認証方式により設定する項目が異なります。

④「WEP を使用する」のチェックボックスをチェックすると、WEP キーの入力が可能になります。

⑤キーサイズの設定
WEP キーのキーサイズを指定します。(初期値は「64bit」です。)

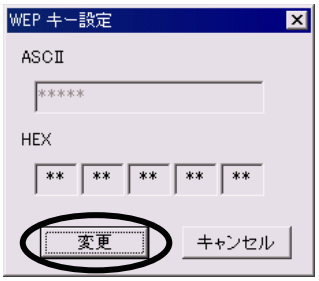
⑥キーインデックスの設定
1～4 の WEP キーインデックスを指定します。(初期値は「1」です。)

⑦WEP キーの設定
キーサイズを「64bit」に指定した場合、
ASCII コード入力では、5 桁入力します。
HEX (16 進コード入力) では、10 桁入力します。

「64bit」設定

ASCII コード入力

HEX (16 進コード) 入力



WEP キーを設定している場合、「変更」をクリックすると、ASCII コード、HEX (16 進コード) の入力になります。

キーサイズを「128bit」に指定した場合、
ASCII 入力では、13 桁入力します。
HEX（16 進入力）では、26 桁入力します。

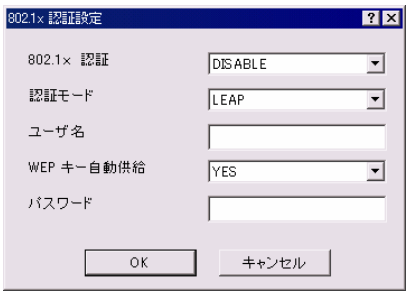
「128bit」設定

ASCII コード入力

HEX（16 進コード）入力

WEP キーを設定している場合、「変更」をクリックすると、ASCII コード、HEX（16 進コード）の入力になります。

⑧「802.1x 認証設定」をクリックすると、802.1x 認証設定の入力が可能になります。



⑨802.1x 認証方式の設定
802.1x 認証方式を設定します。(初期値は「DISABLE」です。)

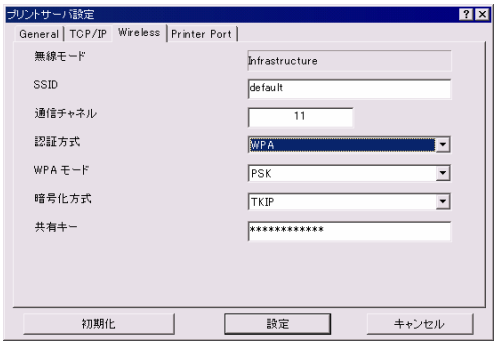
⑩認証モードの設定
認証モードを設定します。(初期値は「LEAP」です。)

⑪802.1x 認証ユーザの設定
任意の英数文字列を最大 64 文字設定できます。(初期値は「NULL」です。)

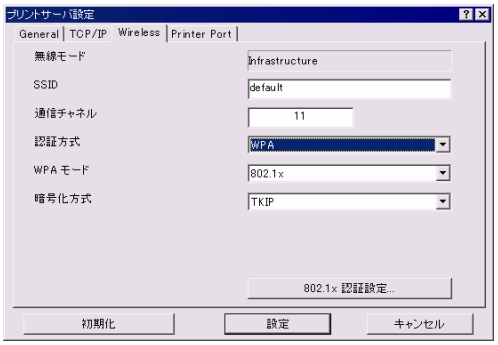
⑫WEP キー自動供給の設定
WEP キーの自動供給を設定します。(初期値は「YES」です。)
注意 「WEP キーを使用する」のチェックボックをチェックした場合に設定する項目が表示され、設定が可能となります。

⑬801.2x 認証パスワードの設定
任意の英数文字列を最大 32 文字設定できます。(初期値は「NULL」です。)
注意 「LEAP」に指定した場合に設定した設定する項目が表示され、設定が可能になります

⑭「WPA」を設定すると、WPA 設定の入力が可能になります。



「WPA-PSK」



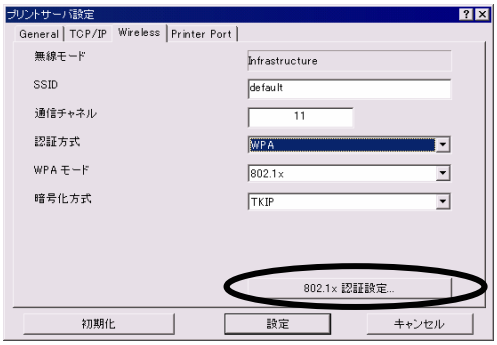
「WPA-802.1x」

⑮WPA モードの設定
WPA 認証のモードを設定します。(初期値は「PSK」です。)

⑯暗号化方式の設定
WPA 認証の暗号化方式を設定します。(初期値は「TKIP」です。)

⑰共有キーの設定
任意の英数文字列を 8～最大 63 文字設定できます。（初期値は「sato printer」です。）
注意 「PSK」に指定した場合に設定した設定する項目が表示され、設定が可能になります

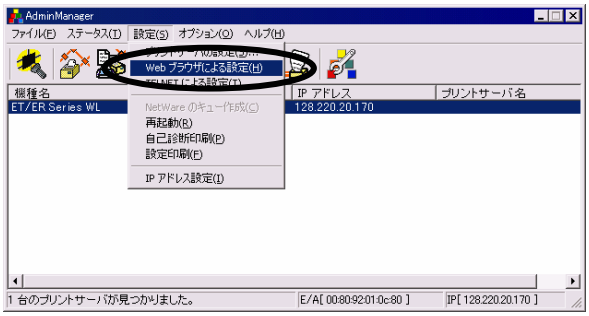
⑱「802.1x 認証設定」をクリックすると、WPA-802.1x 認証設定の入力が可能になります。

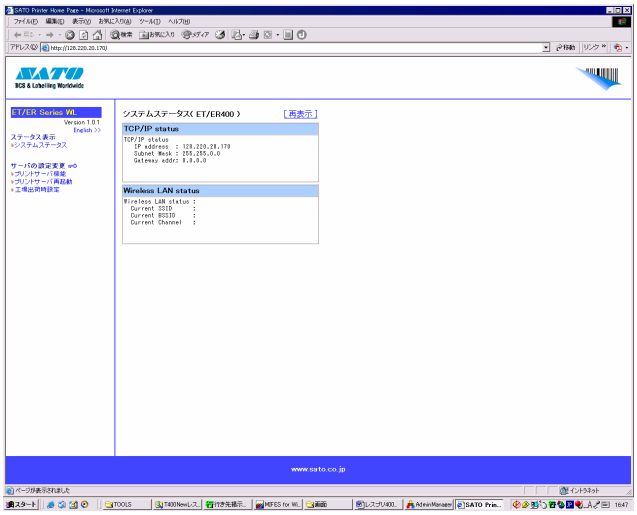


⑲認証モードの設定
WPA-802.1x 認証のモードを設定します。（「EAP-TLS」固定です。）

⑳WPA-802.1x 認証ユーザ名の設定
任意の英数文字列を最大 64 文字設定できます。（初期値は「NULL」です。）

4．WEB 設定
LAN インタフェースボードまたは LAN+無線 LAN フェースボードの設定を WEB ブラウザにて設定を行うことができます。
「Web ブラウザによる設定(H)」をクリックします。

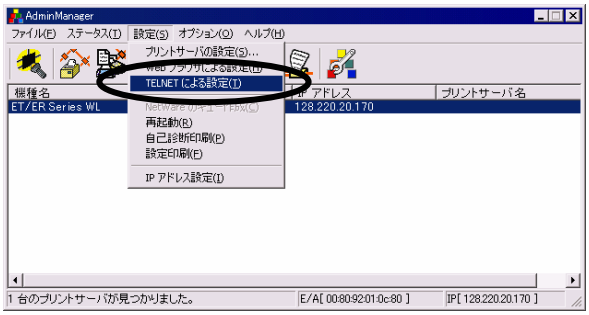


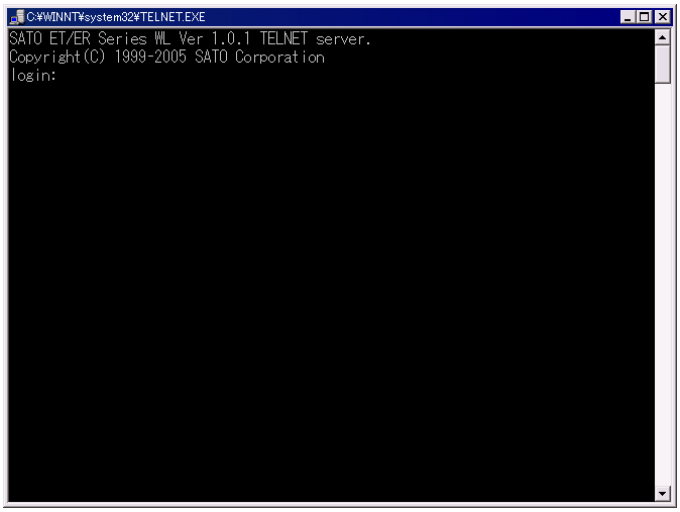


5.TELNET 設定

LAN インタフェースボードまたは LAN+無線 LAN フェースボードの設定を TELNET にて設定を行うことができます。

「TELNET による設定(T)」をクリックします。

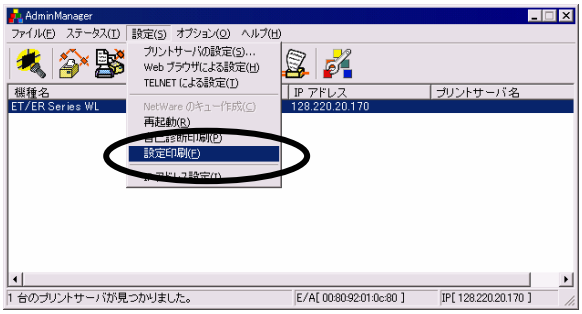




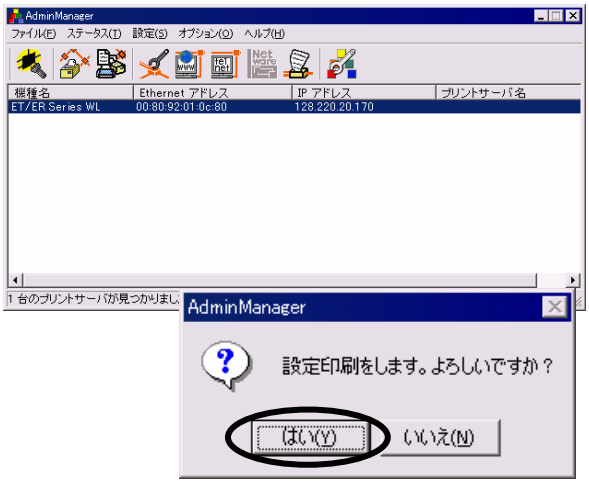
⑤

プリンタから IP アドレス等の設定情報を印字させるには

1．「設定(S)」メニューから「設定印刷(F)」をクリックします。



2．「はい(Y)」をクリックすると設定内容が印字されます。

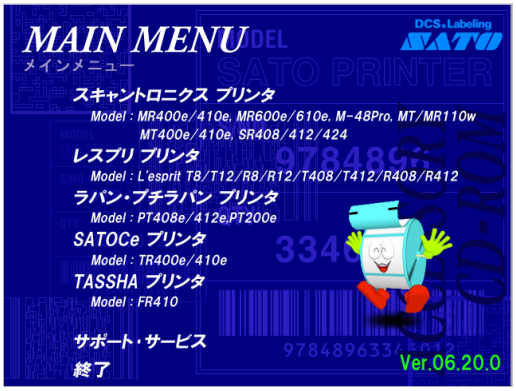


４．プリンタドライバのインストール方法

プリンタドライバをインストールする手順を説明します。
（Windows2000/XP/Server2003）

お願い
　インストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションは全て終了させてください。

① プリンタの電源がオフになっていることを確認して、Windowsを起動します。
② 起動したら「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
③ 「メインメニュー」画面より、「レスプリ プリンタ」をクリックします。
④ 「レスプリシリーズ プリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。
⑤ 「プリンタドライバ」画面より、インストールするプリンタを選択します。
⑥ 「インストール」をクリックします。



メインメニュー

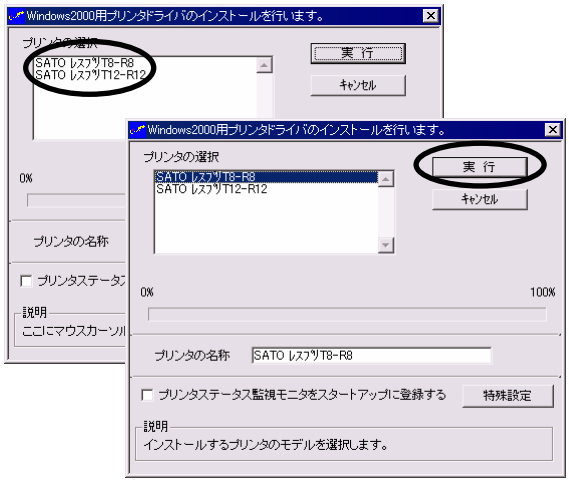
レスプリシリーズ　プリンタ

プリンタドライバ

※ Windows2000/XP/Server2003 の環境でインストールする場合、下記事項に注意してインストールしてください。

（1）プリンタドライバのセットアップを行う場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
（2）プリンタドライバのプロパティ設定、ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄの既定値設定を行う場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
（3）プリンタドライバを使用して発行するには、Administrator 権限ユーザーでログインするかドライバの「セキュリティ」タブ画面の「アクセス権」ボタンで、Everyone のアクセス権を「フルコントロール」に設定してください。
（4）プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信での利用が前提となります。

⑦「プリンタの選択」を行い「実行」をクリックします。



※プリンタドライバをインストールすると同時にプリンタ設定ツール、ステータス監視モニタもインストールされます。

【プリンタの選択】
インストールするプリンタを選択します。
【プリンタの名称】
プリンタドライバの名称を入力できます。

【チェックボックス】
チェックありの場合
・プリンタステータス監視モニタ
ドライバと共にインストールされます。
Windows スタートアップに登録することができます。

プリンタステータス監視モニタ
プリンタの状態を監視するモニタです。
プリンタ設定ツール
プリンタ設定を行うアプリケーションソフトです。
プリンタの設定を変更する場合に必要になります。
詳細は、SATO アクセサリ CD-ROM に添付されている「プリンタ設定ツール説明書」を参照してください。

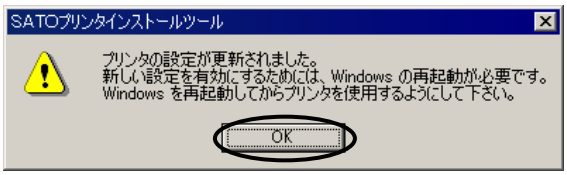
パラレルポート インストール

⑧「パラレル(LPT)」をクリックします。
接続先「標準ポート」を選択し、「OK」をクリックします。

※「標準ポート」を選択し「OK」をクリックすると⑨に移行し
インストールが完了します。

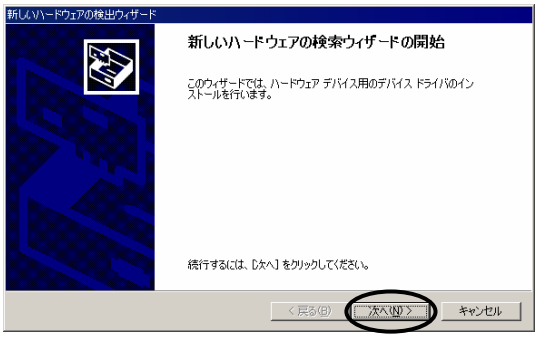
※標準ポートは「LPT1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信を行わない場合に指定します。
標準ポートの「LPT1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

⑨「OK」をクリックします。プリンタドライバのインストールは終了です。

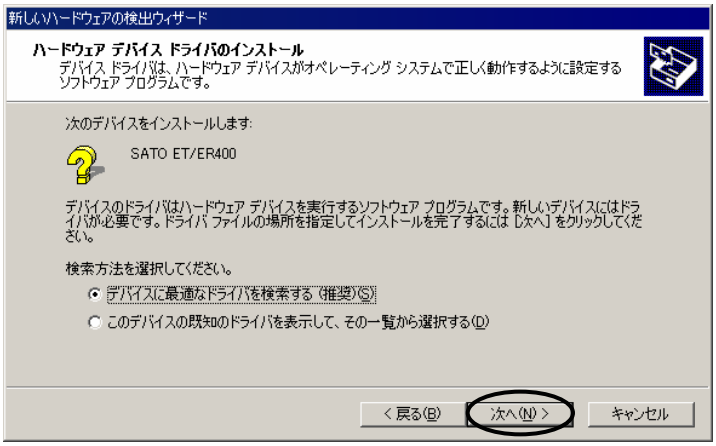


⑩プリンタをパラレルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。
⑪パソコンを再起動します。

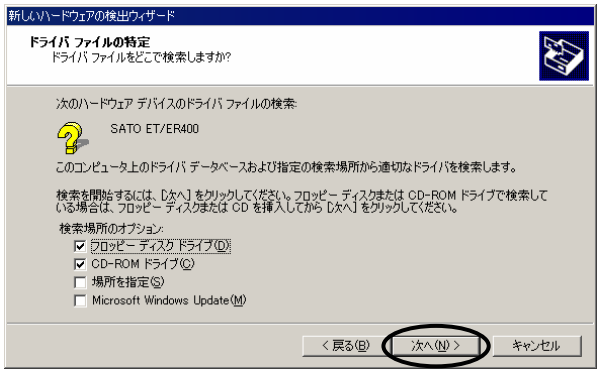
⑫ パソコン画面に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。
「次へ(N)」をクリックします。



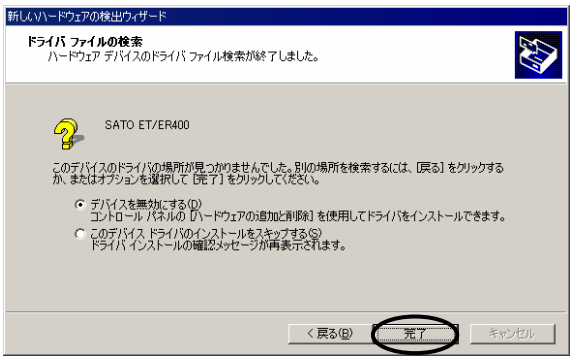
⑬「次へ(N)」をクリックします。



⑭「次へ(N)」をクリックします。



⑮「完了」をクリックします。

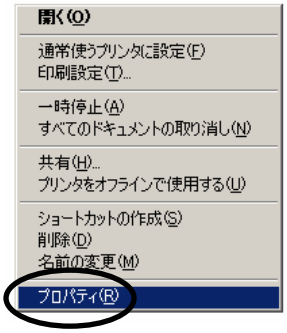


ヒント

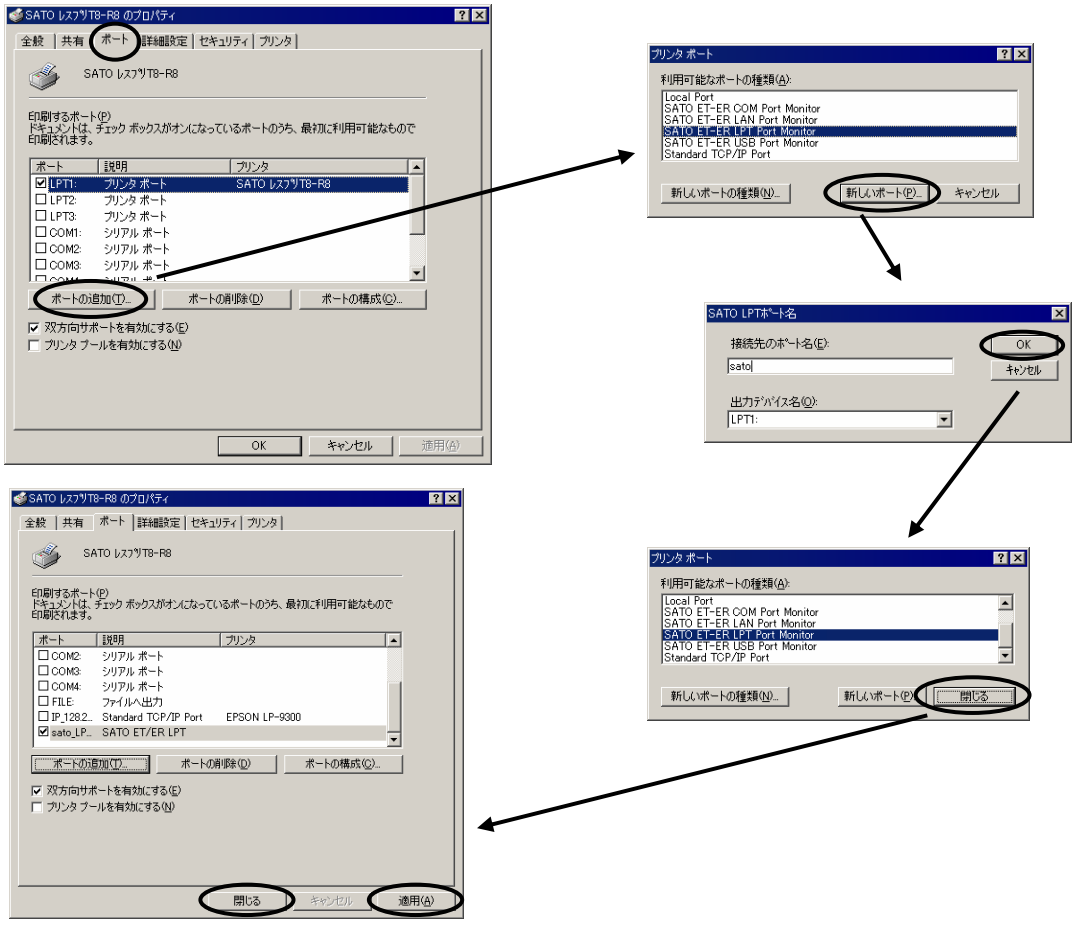
「デジタル署名が見つかりませんでした」の表示は、表示される場合と、表示されない場合があります。表示された場合は、「はい(Y)」をクリックします。

⑯ Windows が起動した後、プリンタの電源を入れてください。「プリンタ」フォルダを開き、インストールしたプリンタのアイコンをクリックし、「プロパティ(R)」をクリックしてください。

Windows2000/XP/Server2003

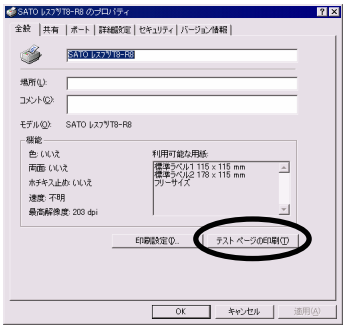


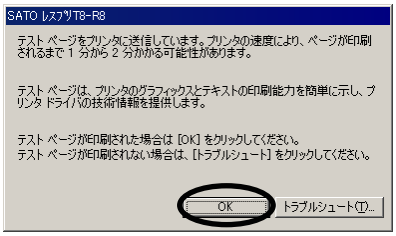
⑰ 「ポート」タブを開き、「ポートの追加(T)」ボタンをクリックします。
「プリンタポート」より「SATO ET-ER LPT Port Monitor」を選択し、「新しいポート(P)」をクリックします。
「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。
「プリンタポート」に戻りますので、「閉じる」をクリックします。
「適用(A)」「閉じる」をクリックし、インストールは完了します。



⑱ Windows2000/XP/Server2003 をご使用の場合は「テストﾍﾟｰｼﾞの印刷(T)」をクリックしてください。
Windows のテストラベルが発行されます。ラベルが発行された場合はプリンタと接続できている状態となります。印字テストの確認が表示されますので、「OK」をクリックします。プロパティの「OK」をクリックし、プリンタとの接続確認は完了です。

Windows2000/XP/Server2003 の場合





ヒント

「プリンタドライバのテスト印字ができない場合は」

1. プリンタドライバにて指定したポート「LPT、LAN、COM、USB」のケーブルが接続されていますか。
2. プリンタの電源は入っていますか。

シリアルポート インストール

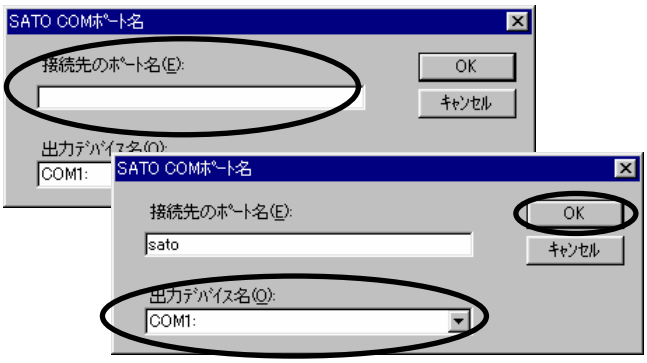
① 「シリアル(COM)」をクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選択し、「OK」をクリックします。

※「SATO ポート(推奨)」を選択し「OK」をクリックすると②に移行します。

※「標準ポート」を選択し「OK」をクリックすると③に移行しインストールが完了します。

※標準ポートは「COM1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信を行わない場合に指定します。
標準ポートの「COM1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

② 接続先のポート名(E)を入力します。 出力デバイス名(O)を選択し、「OK」をクリックします。



【接続先のポート名(E)】
ポート名を入力します。

【出力デバイス名(O)】
出力先のデバイスを選択します。

ヒント

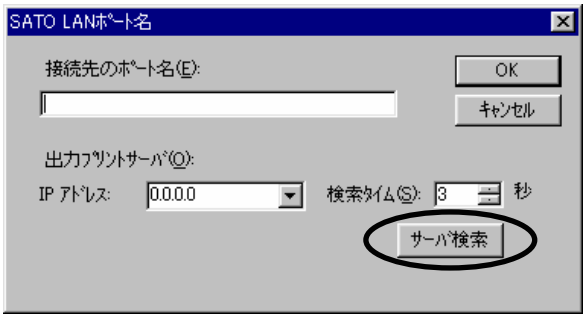
接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

③ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

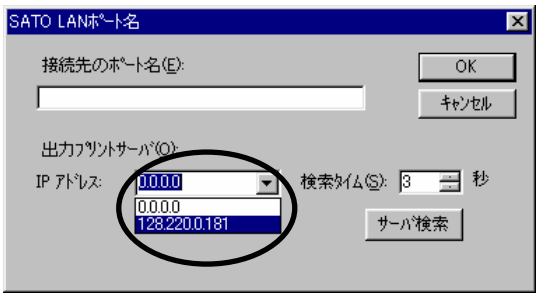
LAN ポート インストール

① 「LAN」をクリックします。

② プリンタIPアドレスが指定してあり、LAN 環境下にプリンタが設置してある場合には、プリンタの電源を入れて「サーバ検索」をクリックします。



③ 「サーバ検索」により検索した結果が表示されます。「OK」をクリックし検索したIPアドレスを選択します。

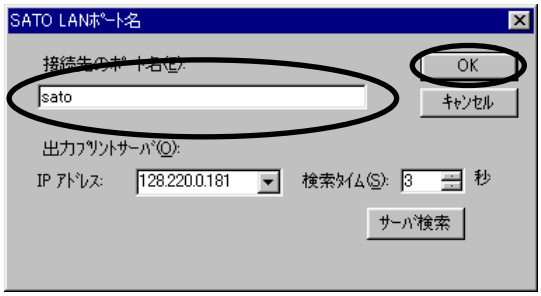


ヒント

検索できなかった場合

以下の点を確認してください。
※プリンタのIPアドレスは指定していますか？
※プリンタの電源は入っていますか？
※LANケーブルは接続してありますか？

④ 「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。



ヒント

接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

⑤ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

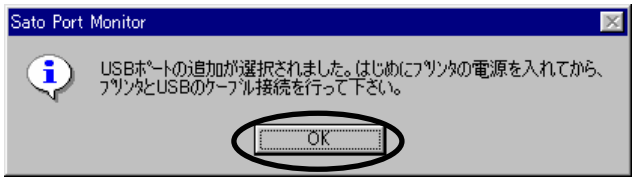
USB ポート インストール

注意 **プリンタの電源をオフにし、USB ケーブルをパソコンと接続します。**
インストール途中で「プリンタの電源を入れる」メッセージが表示されたとき、初めてプリンタの電源を入れてください。

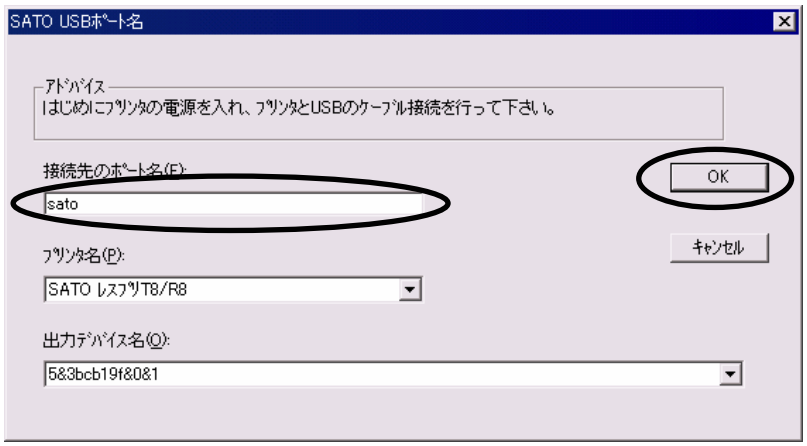
① 「USB」をクリックします。

② プリンタの電源を入れます。
「ドライバ情報データベースの作成」が起動し、USB デバイスが登録されます。

③ 「OK」をクリックします。



④「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。



ヒント

接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

⑤「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

5．ラベル発行までの流れ（Windows2000/XP/Server2003）

アプリケーションソフトから作成したレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから行います。

※本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows2000 を使用しています。WindowsXP/Server2003 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

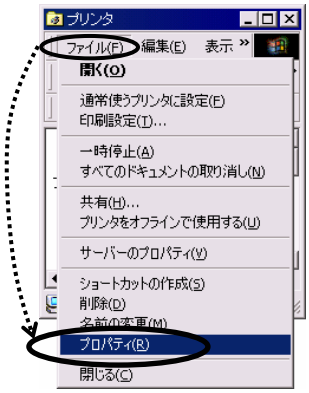
① プリンタドライバの設定シートを開きます

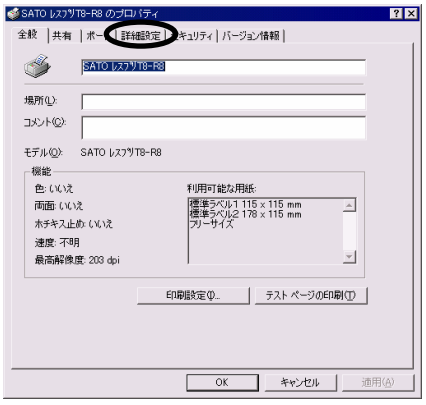
全ユーザーのプリンタドライバの設定を行うときは、「標準の設定」を使用します。
新規追加したユーザーのドライバの設定は、「標準の設定」の値が初期値になります。

①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンをクリックしてください。

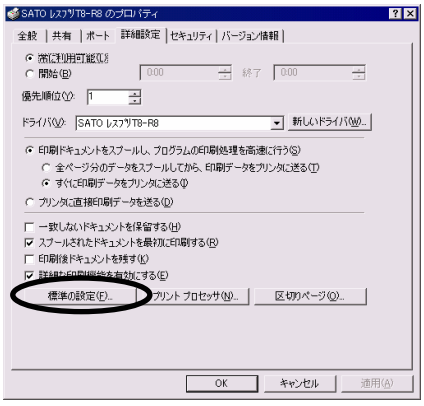
ヒント
「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、スタート をクリックし、「設定(S)」⇒「プリンタ(P)」を選択します。

②「ファイル(F)」メニューから「プロパティ(R)」を選択してください。プリンタドライバのプロパティが開きます。





③「詳細設定」ダブを選択してください。



④「標準の設定(F)」ボタンをクリックしてください。プリンタドライバの設定シートが開きます。

個別ユーザーのみのプリンタドライバの設定を行うときは、「印刷設定」を使用します。

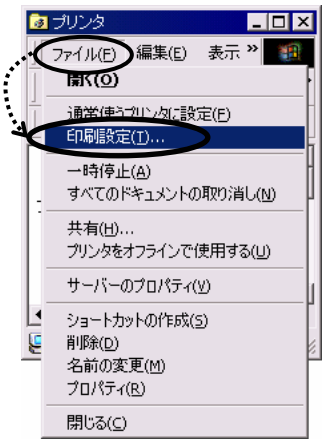
①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンをクリックしてください。

※ここでは例として「ﾚｽﾌﾟﾘ T8-R8」を選択しています。

ヒント

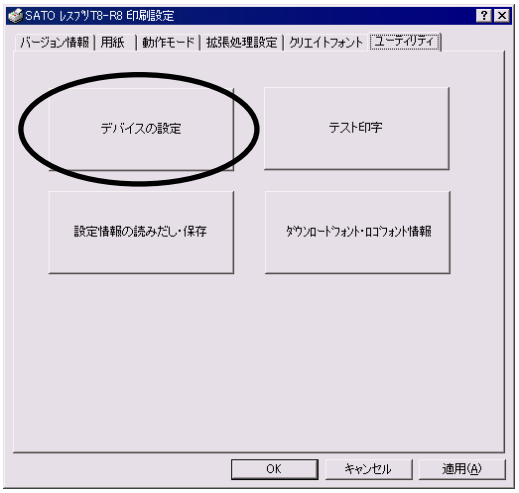
「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、スタート をクリックし、「設定(S)」⇒「プリンタ(P)」を選択します。

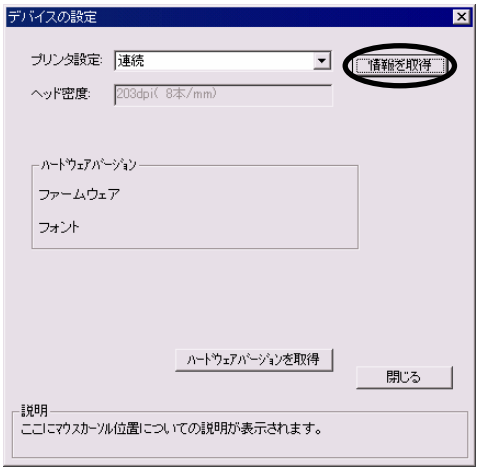
②「ファイル(F)」メニューから「印刷設定(T)」を選択してください。プリンタドライバの設定シートが開きます。



② プリンタの状態を取得します

①ユーティリティから「デバイスの設定」ボタンをクリックしてください。





ヒント

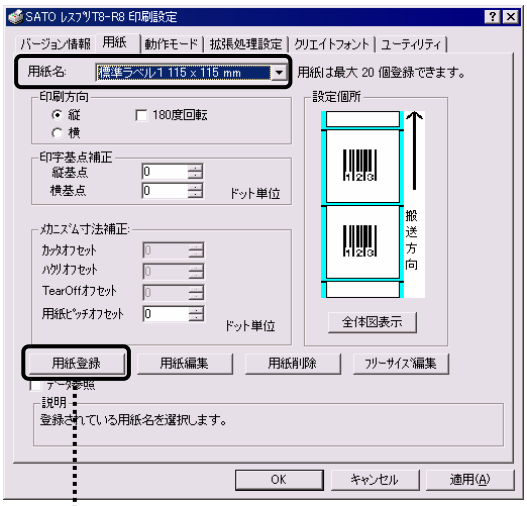
プリンタの設定情報を取得します。
情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
※プリンタドライバをインストールしたあとは、必ず「ユーティリティ」タブにある「デバイスの設定」ボタンをクリックし、デバイスの設定画面で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

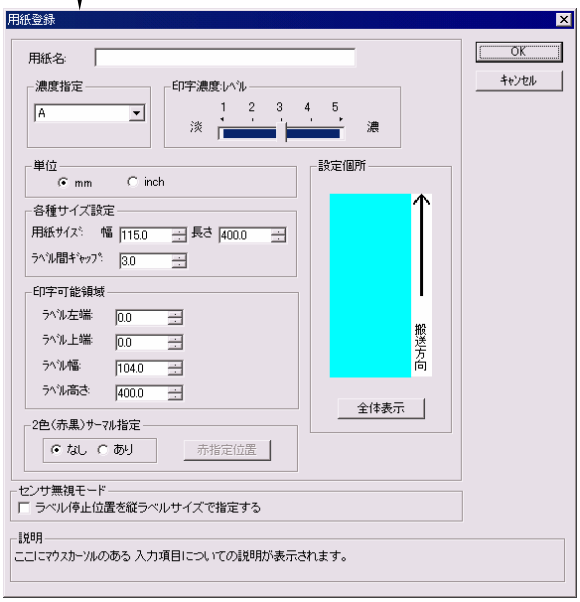
②プリンタの電源を入れてください。

③「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」の欄に表示します。

③ 用紙を選びます

①「用紙」タブを選択してください。





②「用紙名」の ▼ をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。

「用紙名」には 2 種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

標準ラベル 1　115×115(mm)
標準ラベル 2　178×115(mm)

※標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「Windows 2000/XP/Server2003 プリンタドライバ説明書」の「3. 用紙」を参照してください。

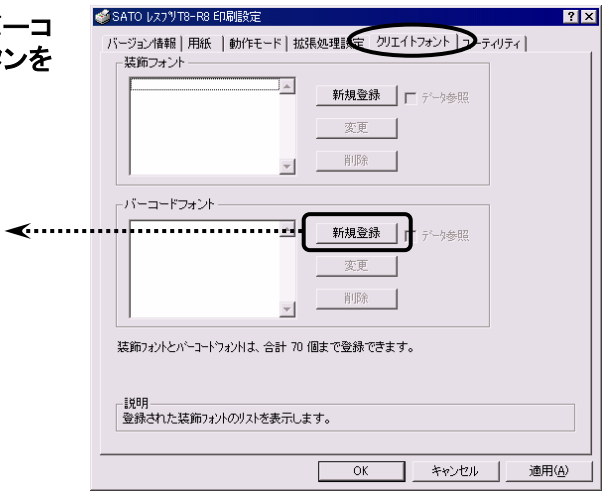
ヒント

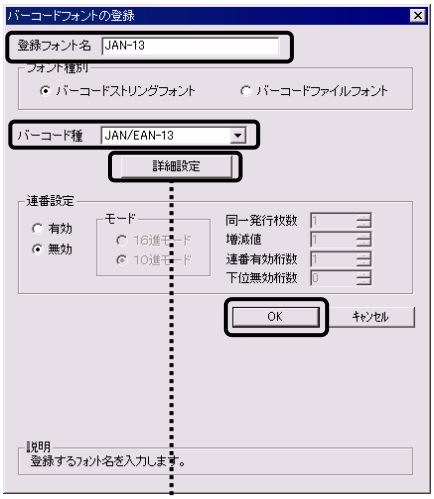
ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。
アプリケーションソフトによっては、あらためてアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

④ バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

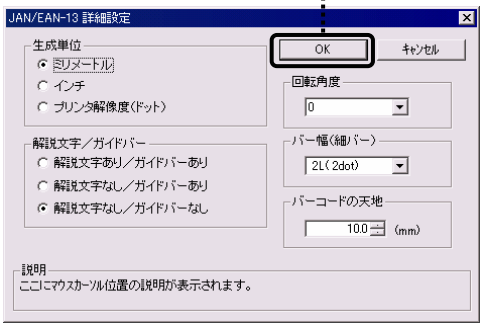
①「クリエイトフォント」タブを選択し、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。





②「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

③「バーコード種」の ▼ をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。



④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定を行っています。

⑤設定が終了したら「OK」をクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」をクリックしてください。

以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

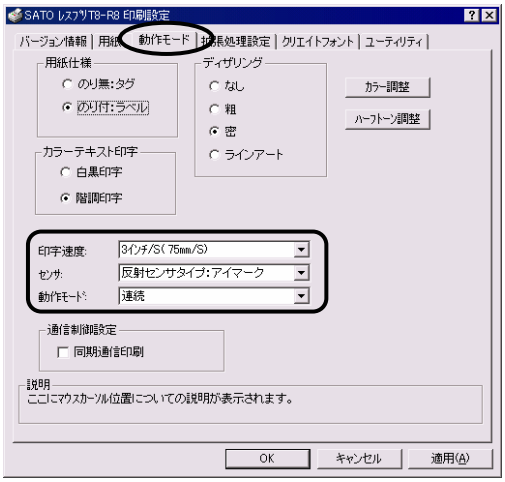
⑤ プリンタ動作を設定します

①「動作モード」タブを選択してください。

②「印字速度」の ▼ をクリックして、表示されるリストから印字速度を選択してください。

③「センサ」の ▼ をクリックして、表示されるリストから使用するセンサを選択してください。

④「動作モード」の ▼ をクリックして、表示されるリストから動作モードを選択してください。



⑥ カッタ付プリンタをご使用の場合は

①「拡張処理設定」タブを選択してください。

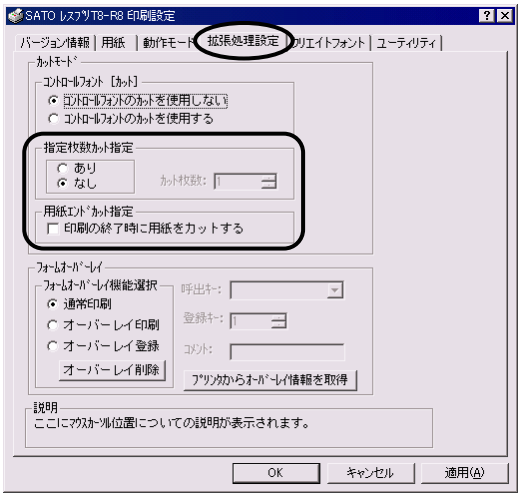
②一定枚数毎にラベルをカットする場合は

「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。

③印刷終了毎にラベルをカットする場合は

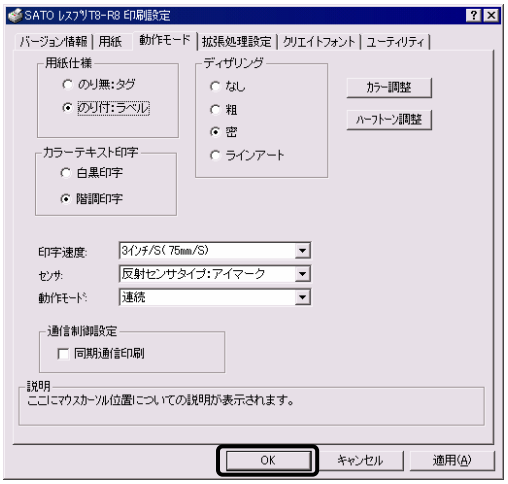
「印刷終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックを入れてください。

※「拡張処理設定」シートに関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「Windows2000/XP/Server2003 プリンタドライバ説明書」の「5. 拡張処理設定」を参照してください。



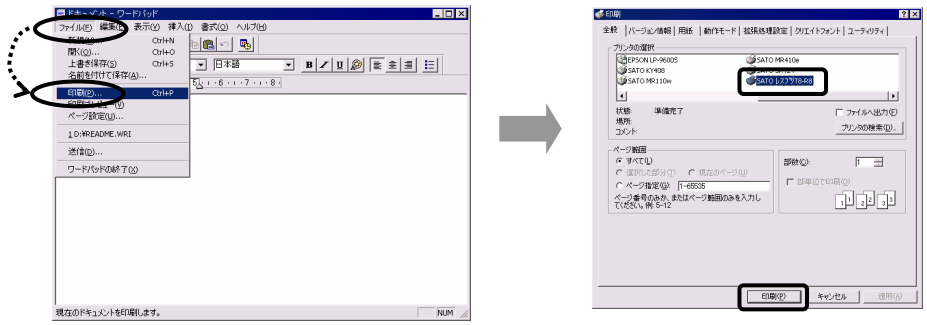
⑦ 設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます

設定シートの「OK」をクリックしてください。



⑧ ラベル発行を開始します

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。



ヒント

印刷の実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、お使いのプリンタにあった、ドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▼ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

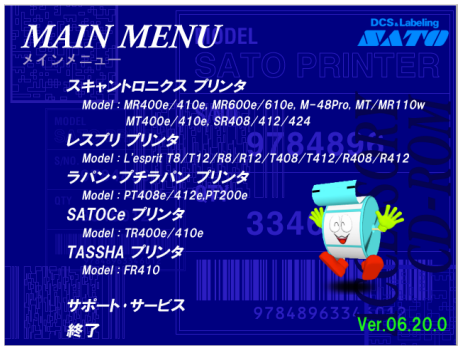
またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらためて用紙を選択する必要があるものもあります。

6．プリンタドライバのアンインストール方法

プリンタドライバをアンインストールする手順を説明します。
（Windows2000/XP/Server2003）

お願い
アンインストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションは全て終了してください。

① **プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。**
② **「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。**
③ **「メインメニュー」画面より、「レスプリ　プリンタ」をクリックします。**
④ **「レスプリシリーズ　プリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。**
⑤ **「プリンタドライバ」画面より、アンインストールするプリンタを選択します。**
⑥ **「アンインストール」をクリックします。**

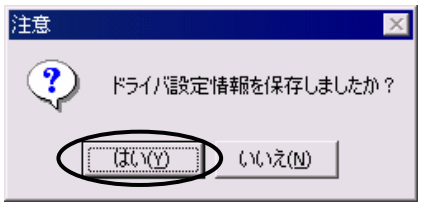


メインメニュー

レスプリシリーズ　プリンタ

プリンタドライバ

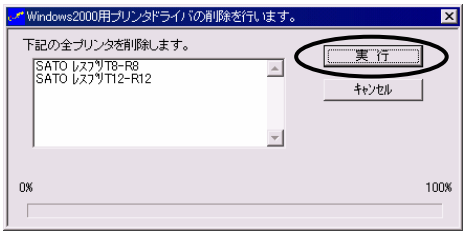
⑦ ユーティリティでドライバプロパティを保存している場合は、「はい(Y)」をクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると「用紙」「クリエイトフォント」などの指定した項目が削除されますので、ドライバの「ユーティリティ」にてファイル保存を行ってください。
保存方法は、P. 47 を参照してください。

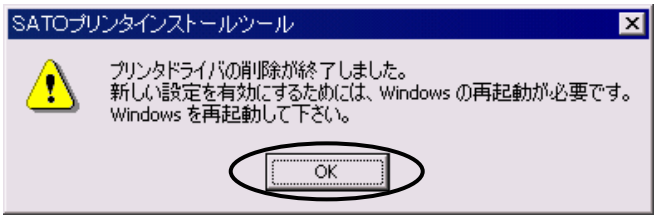
⑧ 表示されているプリンタドライバをアンインストール（削除）します。
「実行」をクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると、プリンタドライバをインストールしたときにインストールした、「SATOポート」、「ステータス監視モニタ」、「プリンタ設定ツール」も削除します。

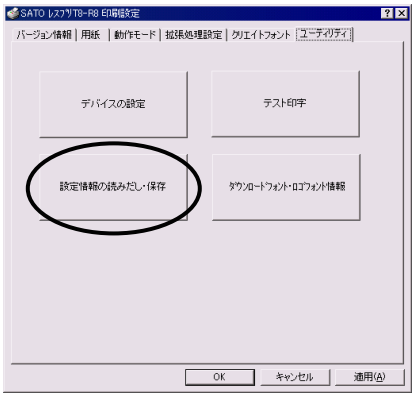
⑨ 「OK」をクリックします。
以上でプリンタドライバのアンインストールは完了です。
Windows を再起動してください。



7．ファイル保存方法

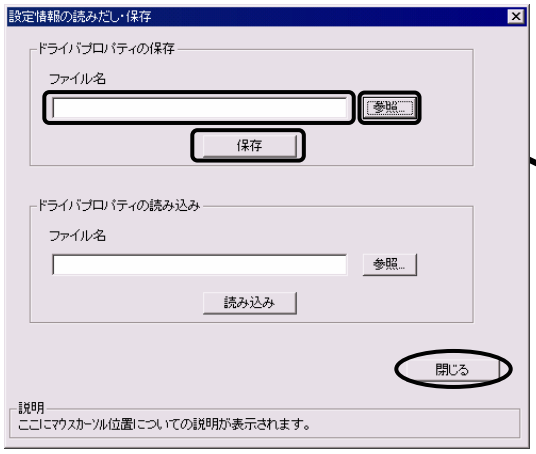
Windows2000/XP/Server2003 のファイル保存方法について説明します。

① プリンタドライバの「印刷設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブをクリックして「設定情報の読み出し・保存」ボタンをクリックします。

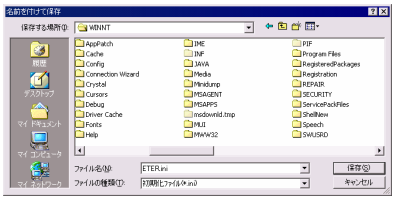


ヒント
印刷設定を開く方法は、P. 39 を参照してください。

② ファイル名を入力します。



ヒント
「参照」をクリックすると、任意の場所にファイル保存することができます。



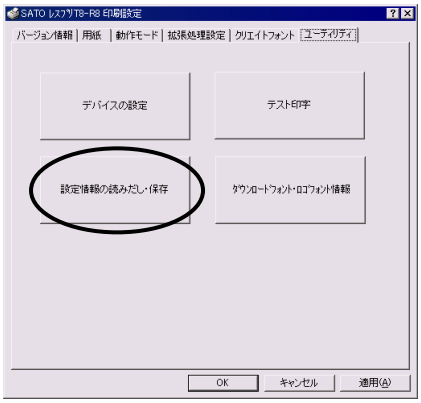
ヒント
保存するファイルは、必ず拡張子「ini」を付加してください。

③ ファイル名を入力し「保存」をクリックします。
「データを保存しました。」の表示後、「OK」をクリックします。

8．ファイル読込み方法

Windows2000/XP/Server2003 のファイル読込み方法について説明します。

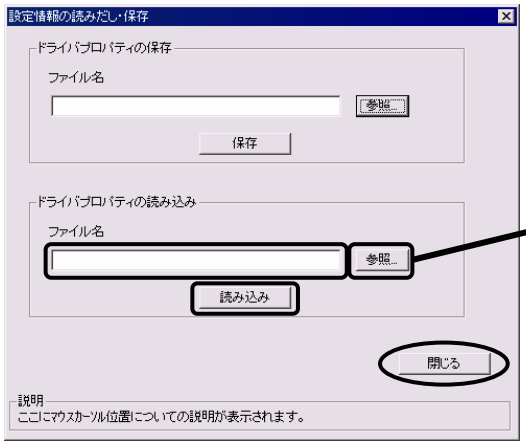
① プリンタドライバの「印刷設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブをクリックして「設定情報の読み出し・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

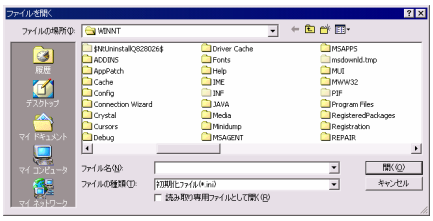
印刷設定を開く方法は、P. 39 を参照してください。

②ファイル名を入力します。



ヒント

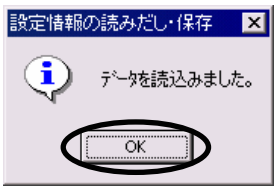
「参照」をクリックすると、任意の場所に保存してあるファイルを読み込むことができます。



ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「ini」を付加してください。

③ ファイル名を入力し「読み込み」をクリックします。
「データを読込みました。」の表示後、「OK」をクリックします。

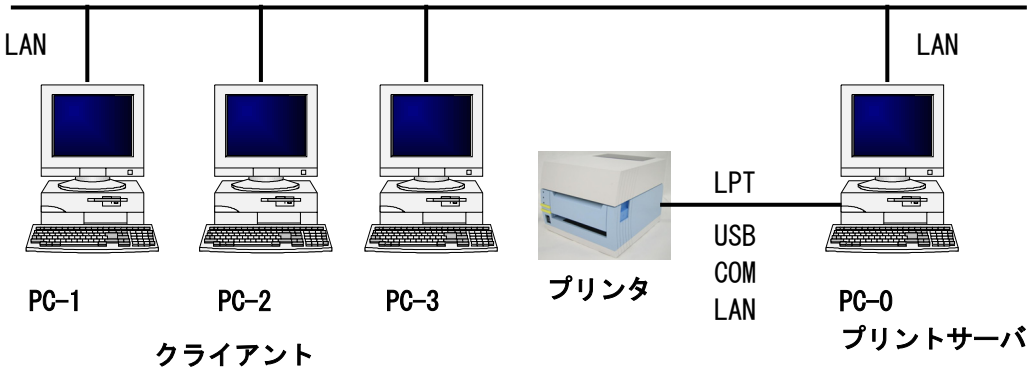


９．プリンタドライバ共有機能

プリンタドライバを共有設定で使用する場合のセットアップ手順について説明します。

１．接続方法

接続は、下図に示しますように、１台の PC（PC-0）をプリントサーバにし、他の PC（PC-1、PC-2、PC-3、･･･）はクライアントとします。また、全ての PC は LAN 接続されており、プリントサーバとプリンタは LPT（もしくは COM、USB、LAN）で接続します。



２．プリンタドライバの設定方法

①プリントサーバ、クライアントともにアクセサリ CD-ROM より、プリンタドライバをインストールします。

注意１ 「プリンタ」フォルダの「プリンタ追加」アイコンにて追加した場合、必要なファイルがインストールされず正常動作しない恐れがあります。（ネットワークコンピュータ上の共有プリンタアイコンのコピーも同じです。）

注意２ クライアントにプリンタドライバをインストールする場合、SATO ポートではなくローカルポート（LPT、COM）を指定してください。

注意３ プリントサーバにプリンタドライバをインストールする場合は、SATO ポートを指定してください。

②プリントサーバのプリンタドライバから正常にラベル発行ができることを確認後、プリンタドライバを「共有」に設定してください。

③クライアントのプリンタドライバの出力先ポートを、サーバで設定した共有プリンタを指定します。

環　境	設定方法
Windows2000 WindowsXP WindowsServer2003	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」にてポートの追加を行います。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥共有プリンタ名」を指定します。

④クライアント側のプリンタドライバの双方向通信を OFF にします。

環　境	設定方法
Windows2000 WindowsXP WindowsServer2003	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。 **注意** 出力先が SATO ポート（SATO LPT、SATO COM、SATO LAN、SATO USB）を指定していた場合、本操作を行うとプロパティ情報（クリエイトフォントや用紙情報等）が初期化される恐れがあります。 出力先が SATO ポート以外であることを確認して本操作を行ってください。 SATO ポートが選択されていた場合は、一度ローカルポート（LPT、COM）を選択し、OK ボタンでポートの変更後に、本操作を行ってください。

3．制限事項

クライアントでは、「双方向通信」を無効設定にしているため、下記の制限事項が生じます。

①プリンタで発生した「用紙切れ」、「リボン切れ」などの各種エラーを認識することができません。
②「その他」または「拡張処理設定」タブの「プリンタからオーバレイ情報を取得」は使用できません。それに伴い「フォームオーバレイ印刷」も使用できません。
③「デバイスの設定」タブまたは「ユーティリティ」タブの「デバイスの設定」の「情報を取得」と「ハードウェアバージョンを取得」は使用できません。
④「動作モード」タブの「動作モード」指定、および「用紙」タブの「メカニズム補正ー各種オフセット」指定が制限されます。
⑤ステータス監視モニタは使用できません。
⑥ダウンロードツールは使用できません。それに伴い、ダウンロードフォント・ロゴも使用できません。
⑦プリンタ設定ツールは使用できません。

１０．Ｑ＆Ａ

Q1「プリンタドライバがインストールできない」

チェック　アクセサリ CD-ROM に異常はありませんか？

エクスプローラで CD-ROM が読めるか確認してください。

チェック　複数のアプリケーションソフトを起動していませんか？

他のアプリケーションソフトを終了させてからもう一度インストールしてください。

チェック　Windowsは、安定していますか？

エラーが発生してプログラムが強制終了された後などは、Windowsが不安定な状態のため、インストールできないことがあります。Windowsを再起動して再度インストールを行ってください。

Q2「アプリケーションエラー」「一般保護違反」

チェック　次のメッセージが表示されていませんか？

「メモリ不足のため、正常に印刷することができませんでした。」

ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、アプリケーションソフトに必要なメモリが確保されているか確認してください。

複数のアプリケーションソフトを起動していると、印刷のためのメモリが確保されず、正しく印刷されないことがあります。他のアプリケーションソフトを終了させてから、もう一度印刷を実行してください。

「メモリ不足のため、バックグラウンド印刷ができませんでした。」

「ディスク容量が不足しているため、正常に印刷できませんでした。」

不必要なファイルを削除してハードディスク容量をあけてください。

チェック　印字データに異常がありませんか？

印字データを再確認してください。設定内容を再確認してください。

別の印字データで印刷を確認してください。設定内容を再確認してください。

チェック　プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。一旦、削除（アンインストール）して、再度インストールを行ってください。

Q3「XXXXX LPT（USB, LAN, COM）書き込みエラー　XXXXX（SATO ﾚｽﾌﾟﾘ T8-R8）」

チェック　プリンタは、起動していますか？プリンタにケーブルは接続されていますか？

ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

チェック　スプーラは、正常に動作していますか？

スプーラが正常に動作していない場合が考えられます。スプールをやめてプリンタに直接データを送るようにしてください。（プリンタプロパティの「スプールの設定(L)」で指定することができます。）

チェック　プリンタポートは、正常に動作していますか？

プリンタポートが正常に動作していない可能性があります。プリンタポートの状態を確認してください。

チェック　プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。一旦、削除（アンインストール）して、再度インストールを行ってください。

１１．アクセサリ CD-ROM

添付品の「アクセサリ CD-ROM」には、以下の項目を提供しています。

1. プリンタドライバ（インストール/アンインストール）

OS	プリンタドライバ対応機種	
・Windows98 版 ・WindowsMe 版 ・WindowsNT4.0 版 ・Windows2000 版 ・WindowsXP 版 ・WindowsServer2003 版	・MR400e/410e ・MR600e/610e ・MT/MR110w ・MT400e/410e ・M-48Pro ・SR408/412/424	スキャントロニクスシリーズ プリンタ
	・TR400e/410e	SATOCe シリーズ プリンタ
	・FR410	TASSHA プリンタ
	・レスプリ T8/T12/R8/R12 ・レスプリ T408/T412/R408/R412	レスプリシリーズ プリンタ
	・プチラパン PT200e	プチラパンシリーズ プリンタ

2. ユーティリティ

MR400e/410e プリンタ設定ツール MR600e/610e プリンタ設定ツール MT/MR110w プリンタ設定ツール MT400e/410e プリンタ設定ツール M-48Pro プリンタ設定ツール SR408/412/424 プリンタ設定ツール	スキャントロニクスシリーズ プリンタ
TR400e/410e プリンタ設定ツール	SATOCe シリーズ プリンタ
TASSHA プリンタ設定ツール	TASSHA プリンタ
レスプリ T8/T12/R8/R12 設定ツール レスプリ T408/T412/R408/R412 設定ツール	レスプリシリーズ プリンタ
プチラパン PT200e 設定ツール プチラパン PT200e ロゴダウンロードツール プチラパン PT200e フォントダウンロードツール	プチラパン PT200e プリンタ
ネットワークユーティリティ	スキャントロニクスシリーズ プリンタ
フォント作成ツール	SATOCe シリーズ プリンタ
ロゴ作成ツール	TASSHA プリンタ
ダウンロードツール	レスプリシリーズ プリンタ

3. マニュアル（PDF）

使用許諾書	全機種共通
SBPLプログラミングガイド	スキャントロニクスシリーズ プリンタ
フォント作成ツール説明書	SATOCe シリーズ プリンタ
ロゴ作成ツール説明書	TASSHA プリンタ
ダウンロードツール説明書	レスプリシリーズ プリンタ
ネットワークユーティリティ説明書	
プリンタステータス監視モニタ説明書	
Windows98/Me プリンタドライバ説明書	
WindowsNT4.0 プリンタドライバ説明書	
Windows2000/XP/Server2003 プリンタドライバ説明書	
プリンタドライバアンインストール説明書	
プリンタ設定ツール説明書	プチラパン PT200e プリンタ
プチラパン PT200e プログラミングガイド	
プチラパン PT200e ロゴ・フォントダウンロードツール説明書	

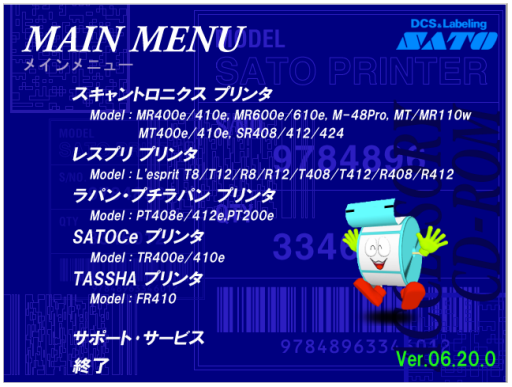
4. Adobe Reader のインストール　　全機種共通

5. TCセンターの説明　　全機種共通

6. サービスセンターの説明　　全機種共通

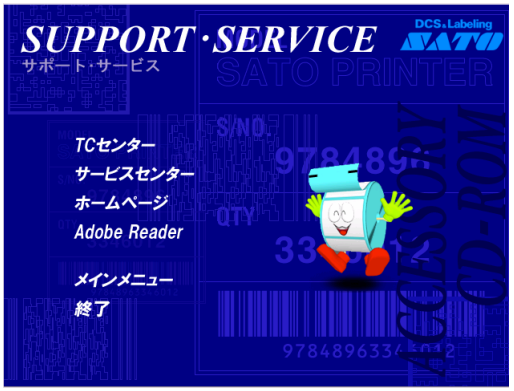
7. ホームページ　　全機種共通

CD-ROM を、CD ドライブにセットすると、「メインメニュー」が表示されます。



「メインメニュー」から「レスプリ　プリンタ」をクリックすると、「レスプリシリーズ　プリンタ」に移行します。

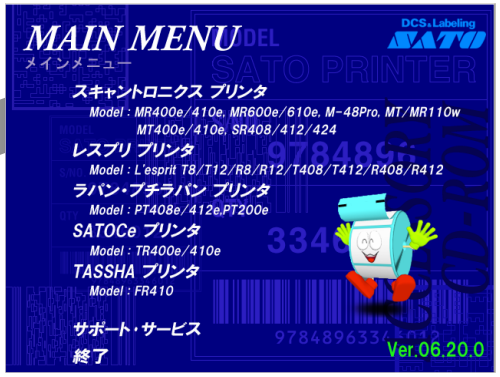
「メインメニュー」から「サポート・サービス」をクリックすると、「サポート・サービス」に移行します。



※画面が表示されないときは、エクスプローラで CD-ROM の「STARTUP.EXE」をクリックしてください。「メインメニュー」が表示されます。

レスプリシリーズ　プリンタから各項目をクリックすると各画面に移行します。

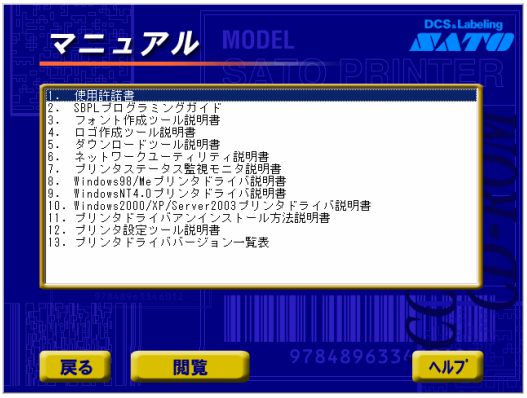
メインメニュー



レスプリシリーズ　プリンタ

プリンタドライバ

マニュアル



ユーティリティ

マニュアルを閲覧する前に必ず、Adobe Reader をインストールしてください。

１２．ご注意

●ご注意
本 CD-ROM を音楽プレイヤーで再生しないでください。スピーカを破損したり、耳を傷つける恐れがあります。
製品を安全にお使いいただくために、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お客様で作成されるフォント、ロゴデータについては、登録されるマスタデータ管理をお願いします。
いかなる時もプリンタ本体に登録されているデータは保証いたしません。

●使用許諾について
本ソフトウェアをお使いいただく上で、始めに CD-ROM の中にある使用許諾書をご確認ください。

●動作環境について（本 CD-ROM をお使いになるパソコンは以下のスペックを推奨します。）
◆Pentium133Mhz 以上◆メモリ 32M 以上◆4倍速の CD-ROM ドライブ以上◆32,000［High Color（16 ビット）］以上の表示

●Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

●他の製品名は、各社の商標または登録商標です。